

年 組 名前：

昭和と中央の境 **ネコ大けが相次ぐ**

昭和町と中央市の境にあたる地域で去年の4月～今年10月にかけて、足に大けがを負ったネコが相次いで見つかり、南甲府署が動物愛護法違反の疑いで捜査に乗り出しました。署は何らかのわなが仕掛けられネコが負傷した可能性が高いとして、11月1日、金属探知機で周辺の草むらを探しましたが、わなは見つかりませんでした。署に相談した動物愛護団体によると、けがが確認されたネコは8匹。足の骨が折れたり、足がなくなったりして、動物が踏むと二つの半円状の金属で足を挟むわな「トラバサミ」によるけがである可能性が高いといいます。団体の役員は「1年半で足に似たようなけがを負ったネコが同じ場所で8匹見つかることは異常」といい、ペットを飼う近隣住民からは不安の声が上がっています。



長い木の棒や金属探知機を使ってわなを探す警察官—昭和町上河東

(2023年11月9日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1

足に大けがを負ったネコが相次いで見つかりました。その場所はどこですか。

.....

問2

南甲府署員は、「わな」による負傷の可能性が高いとして、どのような調査をしましたか。

.....

問3

ペットを飼う近所の住民は、どのように思っていますか。

.....